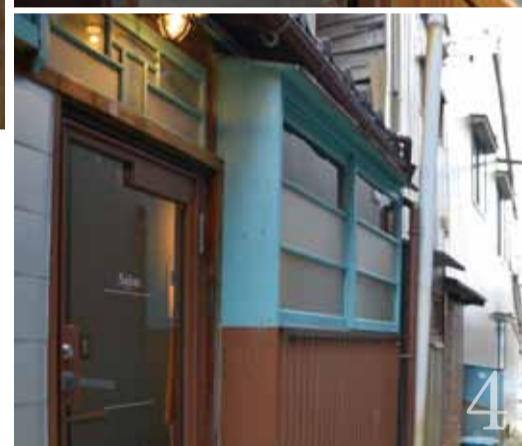


No.002

2016.5.30

http://worldly-design.jp

## ま.ば.ら ペイパー



# まばらぼ ma.ba.lab

デザイン&amp;まちづくりの事務所 × サロン × ギャラリー

## スタートしました!

### ひとことで言いづらい場所。

昨年12月からリノベーションしてきた旧・高木邸。4月下旬に工事が終わり、ゴールデンウィーク中に事務所の引っ越しをし、5月中旬からこちらで業務を開始しました。「カフェになるの?」「どんな場所なの?」と聞かれることも多いのですが、メインは、デザインとまちづくりの会社の事務所として使っています。通りに面したさまのこのある方が事務所の入口(写真2・3)。外からも見える場所は打合せスペースです(写真5)。

「なんだ、お茶は飲めないのね…」と残念がられるご近所の方のお声も少なからずうかがいましたが、その機会がまったく無いわけではありません!ひとことでは言いづらい場所ですが、事務所とサロンとギャラリーが一体となった場所が「ま

ばらぼ」だと覚えていただければ幸いです。

「まばらぼ」=「疎ラボ」。

この「まばらぼ」という名前、気になりますよね? 実は「疎ら(まばら)」から取っています。昭和30年代、新湊地区は日本一の人口密集地だったそうです。でも、今は空き家も増え、住んでいる方も少なくなりました。人が減るのは寂しいですが、悪いことだけでもないと感じます。「間」が空いてくると、密集していた時にはわからなかった関係や個々の存在の大切さが際立ってくるような気がするからです。「過疎」や「限界集落」などと言われる地域に暮らす人の方が、いわゆる都会に住む人より生き生きしているように感じられることも少なくありません。そんな「間(ま)」と「場(ば)」を考えていく拠点にもしたいし、ママやばあちゃんなど

多世代の女性が生き生きと暮らすためのヒントやサポートのある場所にもしていきたい…という思いから付けた名前です。

### イベントスペース用のサロンと細長〜いギャラリー、あり☑。

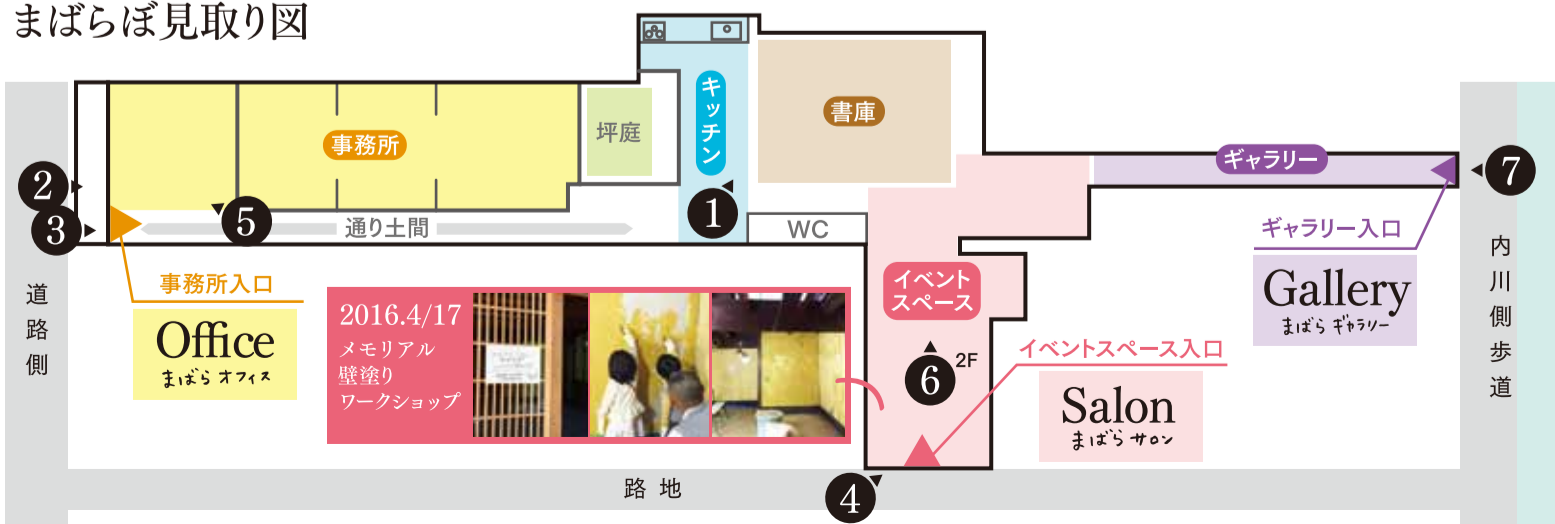
路地に面したところにも入口があり(写真4)、そこはイベントスペースにつながっています。(写真6、2階の様子) 書庫にしている土蔵の壁にはプロジェクターで映像を映すこともでき、20名程度の会議・会合のスペース(有料)としても使えます。サロンの黄色い土壁は、この道55年左官職人さんのご協力を得、建物完成直前に壁塗りワークショップ(下部枠内写真)を行って塗りました。小さいお子さんもキャッキヤ言いながら塗ってくれたので、とても味のある壁になっています。勉強会や、隣接するキッチン(写真1)も使った食事会、上映会…などを開催したいと思っています。

そして、内川側の歩道に面する小さな間口から伸びる細長〜い空間は、細長〜いギャラリーです(写真7)。地域の方や作家さんとコラボレーションしての展示会をはじめ、面白い使い方を考えていきたいと思っています。

事務所部分以外は、まだまだ稼働は少ないですが、今後、様々なイベントを企画して参る所存です。その時は、ぜひ足をお運びくださいませ。

株式会社 ワールドリー・デザイン  
代表取締役 明石あおい

### まばらぼ見取り図



# お獅子が来た! 2016.5.15 10:20p.m.

新湊・放生津地域では、春になると各町内で獅子舞が行われます。各町内で、同時期に（5月15日前後が多い）開催される春祭り。歩ける範囲内で何十もの獅子舞を見られるのも、この地域ならではの魅力のひとつです。

「まばらぼ」のある奈呉町（なごまち）には、奈呉町青年団獅子方若連中のものと、西奈呉獅子舞保存会（通称：大奈呉の獅子舞）のものがあります。2つのお獅子が見られるのも、ここが漁師さんたちの多く住む人口密集地だったからこそ。

祝儀を多めにだして、スペシャルに長く舞っていただくことを「花を打つ」と言いますが、新事務所オープンということで、小さな弊社も奈呉町の獅子方若連中へ、花を打たせていただきました。新湊・放生津地区では、夜には松明を使って舞うのが特徴のひとつ。庄川を渡った六渡寺獅子舞の松明を駆使した舞（ヨソブリ舞）がその発祥で、それを他の町内に先んじて取り入れたという奈呉町の獅子舞は、それはそれは勇ましく見応えが！また、漁業の守護神と結びついた「オーベッサン」という漁師町特有のものや、ストーリー性の高い演目も拝見。もと家主の高木さんご家族の解説を伺いながら、事務所スタッフやお客様らと共に、勇壮な舞を堪能しました。獅子方のみなさんに休憩していただく準備や、花打ちのための目録注文、お酒やご祝儀のことなど、分からないことだらけでしたが、ご近所のみなさんがいろいろと教えてくださったおかげで、何とかお獅子をお迎えできました。獅子方のみなさん、ご近所のみなさん、ありがとうございました！！

（参考資料：荒木菊男著「郷土芸能 新湊の獅子舞」）



文系&アート系の女子6人でやっています。  
今回は、事務所周辺のお気に入りをご紹介します！

# Worldly Design

“Worldly(ワールドリー)”とは「世間」という意味。世間の“Design(デザイン)”をする会社です。

株式会社ワールドリー・デザインは、まちづくりとデザインの小さな会社です。現在は総勢6名の女子でやっております。お仕事は、地域活性化のための戦略づくりや、パンフレットや読み物づくりなどが中心です。自分たちの足で出向き、お話をうかがい、その場所やその人にしかない瞬間や魅力を、引き出すお手伝いをしています。全員が、県外出身者もしくは県外在住経験者で、“富山の当たり前”に驚く毎日です。日頃食べているもの、お祭り、慣習など、その地域では普通

にしていることが、私たちにはとても珍しくて、有り難くて、宝物のようにキラキラ輝いて見えるのです。「当たり前」の反対は「有り難い」。地元のみなさんと一緒になって魅力を発見して、磨く活動を、富山県内を中心に活動しております。お客様は県や市などの自治体、地元企業さん、個人の方などさまざま。名刺1枚から、地域全体のPRやブランディングまで、みなさんと最初から考えて、よいもの、長く楽しく使えるものを作るお手伝いをさせていただいております。

**気比住吉神社 木彫の狛犬**  
(矢野啓通作)

代表取締役  
**明石 あおい**

気比住吉神社の狛犬。木の彫り物の技が、めっちゃいいお気に入り。ホケモンみたいでかわいい。

**内川を通る 漁船**

oishii担当  
**橋川 絢花**

お気に入りいろいろ、驚いたこと!! 内川を漁船が通るの音。こんな近くに海があるの、景色を見ては「お気に入り」で、バカになる。

**新湊大橋**

omoshii担当  
**坂本 理恵**

バカだわ! 新湊大橋。毎日「海がー!!!」と叫びながら通勤しています。スピードも遅いから、最高です...。(ハズ) 山の人間なので...

**商店街に流れる音**

tekuteku担当  
**大里 泉**

東新町商店街を歩いていて、聞こえてくるスピーカーからの音。初めて通った時どこから聞こえてくるのか、キョロキョロしてしまいました! ついって通りたくなります!

**内川の川べり**

pokapoka担当  
**小林 麻衣**

事務所の周りの内川の川べり。お昼になると、みんなお弁当を食べたり、ぼーっと歩いたり... いまだに観光客気分が抜けません。毎日の通勤が楽しみで、ワクワクしています。あ、楽しい。

**かぐら通り**

(見習い中)  
**高木 真依子**

毎日通勤で通る“神楽通り”。アスファルトのグレー道路から、セメントのブロックが敷き詰められた道路になったあの“特別な場所感”道幅も広いので、運転も気持ちよく、ドライバー目線でも安心できます。



**太陽堂おしゃれめがねフェア (2016.5)**  
地元の太陽堂さんのフェア案内。弊社スタッフの橋川がモデルにも挑戦しています(笑)。



**オリジナルデザインTシャツ (2016.5~)**  
自主企画で内川周辺&地域にちなんだオリジナルデザインのゆるくてポップなTシャツを開発中! いずれ販売していきたいです。